

# REPORT

独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）

徳島貿易情報センター 所長

村上 義

## 欧州アパレルブランドのサステナビリティ動向

サステナブル先進国が集まる欧州では消費者のサステナビリティに対する意識も高く、世界で2番目の環境汚染産業とも揶揄されるファッション業界にもその目は向けられています。

ファッション業界で主流となった大量生産・大量消費・大量廃棄というビジネスモデルが環境や社会に多くの悪影響を及ぼすであろうことに消費者は気づき始めているといえます。

アパレルブランドは、単にサステナビリティに関する方針だけでなく、それをどう実践しているのか、具体的な取り組みや進捗状況、結果や課題などの情報を高い透明性をもって公開し、科学的もしくは論理的な方法で、簡潔かつ明解に伝えることが重要となるとみられます。

ジェトロ海外調査部とパリ事務所では、ファッション産業の世界的リーダーであるフランスを中心に、上記に関する調査を実施しました。フィールド調査を通して豊富な具体事例をご紹介します。是非、ご覧ください。

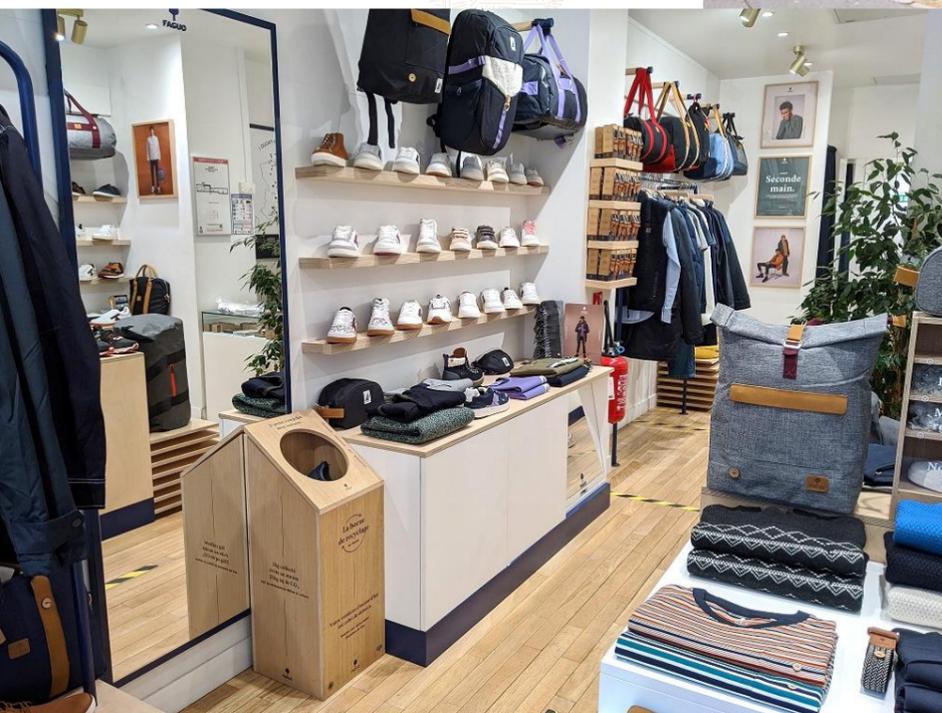
報告書はこちら



<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2021/01/3f6cf43ab5fd45fe.html>



路上の衣料専用回収ボックスには仕分け後61%が再販、36%がリサイクル、3%がエネルギー活用されるとイラストで描かれている。（ジェトロ撮影）



パリ15区にある「Faguo」の店内にはリサイクルボックスが設置されている。（ジェトロ撮影）